



5月は日差しも真夏並になるとはいえ、気温自体が大変高くなり、東京でも30度近くになりました。それでも、南方から毎年渡ってくる鳥たちは相変わらずの姿を見せてくれて、いつもの美しい鳴き声を響かせてくれました。その鳥たちの姿の美しさ以上に、木々の緑の中から聞こえてくる爽やかな歌声には、心癒されて元気づけられ、笑顔になります。

## 【ミャンマー紀行】その1

昨年12月2日、中野ゼロ西館の美術ギャラリーで開催した「音の展覧会をワークショップ」に、跡見女子大学学長の笠原清志先生、ミャンマー宗教省高官の方、ヤンゴン市内最大級で生徒数千余名の寺子屋の校長先生、教育関係者他が見学にこられました。（会報第12号でもご報告済みです）

彼等は「社会デザイン学会」の招きで来日しました。現在、ミャンマーでは子供たちへの音楽教育が行われておらず、それをどのように実施していくのがよいのか、日本へ一週間ほど視察に来られていたのです。

ミャンマーは経済的な貧困国でありながらも、識字率の高い国です。それは経済的理由やその他の理由で学校へ通えない子供たちを、お寺が救済・教育している寺子屋という制度があるおかげです。ミャンマーはヤンゴン市内でも朝からお坊様たちが列をなして托鉢している典型的な仏教国。寺子屋の数も公立学校より多いほどです。ただし、運営費は全て托鉢など市民からの寄付で賄われているので、経済委的にゆとりはなく、先生方に支払われる給料も滞りがちです。お嫁入り前の若い女性が、子供のころにお世話になった恩返しのつもりで嫁ぐ前まで務めるなどしているようです。

彼等が日本の教育現場をいくつか視察した後で、私たちNPOの活動がこれからのミャンマーの子供たちの音楽教育に最も相応しいとして選んでくれたその訳は・・・。  
以下次号

【音雑感 ～永遠の未完成～】

理事・事務局長

口中 常嘉

「永遠の未完成」あの映画王ウォルト・ディズニーが好きだった言葉、というか生き方だった。常に最高の物を求めて、現状に満足せず、いつもより良いのを探求していた。わがNPO法人「音」を「楽」しむONGAKUの会の理事長、池田邦太郎さんもそんな一人だ。

マリンカンや紙鉄砲や数多くの手作り楽器の製作に、数十年前から取り組んでいるのだが、常に性能の良いもの、作りやすいものを探求し続けている、と夫人の明子副理事長が語っている。会うたびに、「最高のものができた」「これは究極のものだ」といって、次に会うとまた新しいものが提示される。感嘆するばかりだ。

### 【今後の活動予定】

～ご参加などについては、本会事務局までご連絡ください～

- ★6月10日（日） 「ドレミを使わない！音を楽しむONGAKU教室」  
(港区いきいきプラザ 14:00～16:00)
- ★6月26日（月）畑町ガーデンにて自由連弾 9:30～12:00
- ★7月20～22日 ミャンマーのパネル展示、音の展覧会、ライブパフォーマンス  
(なかのZERO)

### ■賛助会員を募集しています！

本会の活動は殆ど全て会員の皆様の会費で賄われています。本会の事業の趣旨に賛同し、ご支援していただける方は、是非賛助会員になってください。現会員の方は、お知り合いの方などにお声をおかけください。賛助会員になってくださる方（または誘ってくださった会員の方）は、まず下記の事務局までご連絡ください。

賛助会費は、年間3000円です。よろしくお願い致します。

振込先

- |   |
|---|
| ① ◆三菱東京UFJ銀行 向島支店 ◆口座番号：普通 0088065<br>◆名義名：NPO法人 音を楽しむONGAKUの会理事長 池田邦太郎 |
| ② ◆ゆうちょ銀行 ◆口座記号：10090 口座番号：18396671<br>◆加入者名：トクヒ)オトヲタノシムオンガクノカイ         |

NPO法人 「音」を「楽」しむONGAKUの会  
〒131-0032 東京都墨田区東向島2-34-12 サニーフラット202号  
PHONE & FAX : 03-3610-2292  
E-mail otoiawase@oto.or.jp  
URL : <http://www.oto.or.jp/>  
facebook : <https://www.facebook.com/ototano/>